

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（領域開拓プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

「認知科学的転回」とアイデンティティの変容

研究テーマ名

予測的符号化の原理による心性の創発と共有-認知科学・人文学・情報学の統合的研究-

責任機関

国立大学法人名古屋大学

研究実施期間

平成29年10月～平成32年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	大平 英樹	名古屋大学・大学院情報学研究科・教授
グループリーダー	中村 靖子	名古屋大学・大学院人文学研究科・教授
グループリーダー	金 明哲	同志社大学・文化情報学部・教授
分担者	鈴木 麗瑩	名古屋大学・大学院情報学研究科・准教授
分担者	松井 裕美	名古屋大学・高等研究院（大学院人文学研究科）・特任助教
分担者	高橋 英之	大阪大学・大学院基礎工学研究科・特任講師
分担者	平田 周	南山大学・外国語学部・准教授
分担者	伊東 剛史	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授

配分（予定）額

（単位：円）

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
2,925,000	4,778,800	3,977,350	1,471,600

※平成30年度・平成31年度・平成32年度については予定額

研究目的の概要

アイデンティティの基盤となる知覚、認識、感情、価値観などの心性は、個人の経験を軸に、文化や時代の影響を受けて主観的に構成される。本研究は、脳は内的モデルに基づき外界や状況の知覚や認識を能動的に構成すると主張する予測的符号化の原理に立脚し、心性が創発され共有されるメカニズムを、実験研究、コンピュータ・シミュレーション、文献研究、テキストマイニングという多様な方法を用いて統合的に探究する。

研究計画の概要

(1) 2者が運動を同調させる課題において、行動、脳波、生理反応、発話を測定する実験研究により、知覚と運動の予測的符号化から感情や共感などの心性が創発されるメカニズムを検討する。(2) コンピュータ・シミュレーションにより、集団において心性が共有されるメカニズムを検討する。(3) さまざまな時代や地域の文献研究から、心性が創発され共有される歴史文化的過程を明らかにする。(4) テキストマイニングにより実験での発話や文献の言語データを解析し、心性の創発と共有の背後にある言語構造を探る。これらの研究知見に基づいて新しい人文学の可能性を提唱する。